

平成26年3月期

平成25年4月1日～平成26年3月31日

補足説明資料

平成26年5月9日（金）

デジタルアーツ株式会社

（証券コード2326）

平成26年3月期通期業績

売上高 3,027百万円 (前年同期比 104.1%)

経常利益 659百万円 (前年同期比 90.8%)

(単位：百万円)

連結	平成25年3月期	平成26年3月期		
	通期 (実)	通期 (予)	通期 (実)	前年同期比
売上高	2,906	3,200	3,027	104.1%
営業利益	736	800	653	88.6%
経常利益	726	800	659	90.8%
当期純利益	444	480	399	89.9%

*予想は平成25年5月9日公表の業績予想

売上高は、前年同期を超えて120百万円伸長しました
 しかしながら、業績予想に対しては、172百万円の未達となりました
 未達の要因は、公共および家庭向け市場の売上高は予想通りに着地したものの、
 企業向け市場では既存製品と新製品が予想ほど伸長しなかったことにより
 経常利益は、費用の削減努力をしたものの、売上高の172百万円の未達により、
 140百万円の予想未達となりました

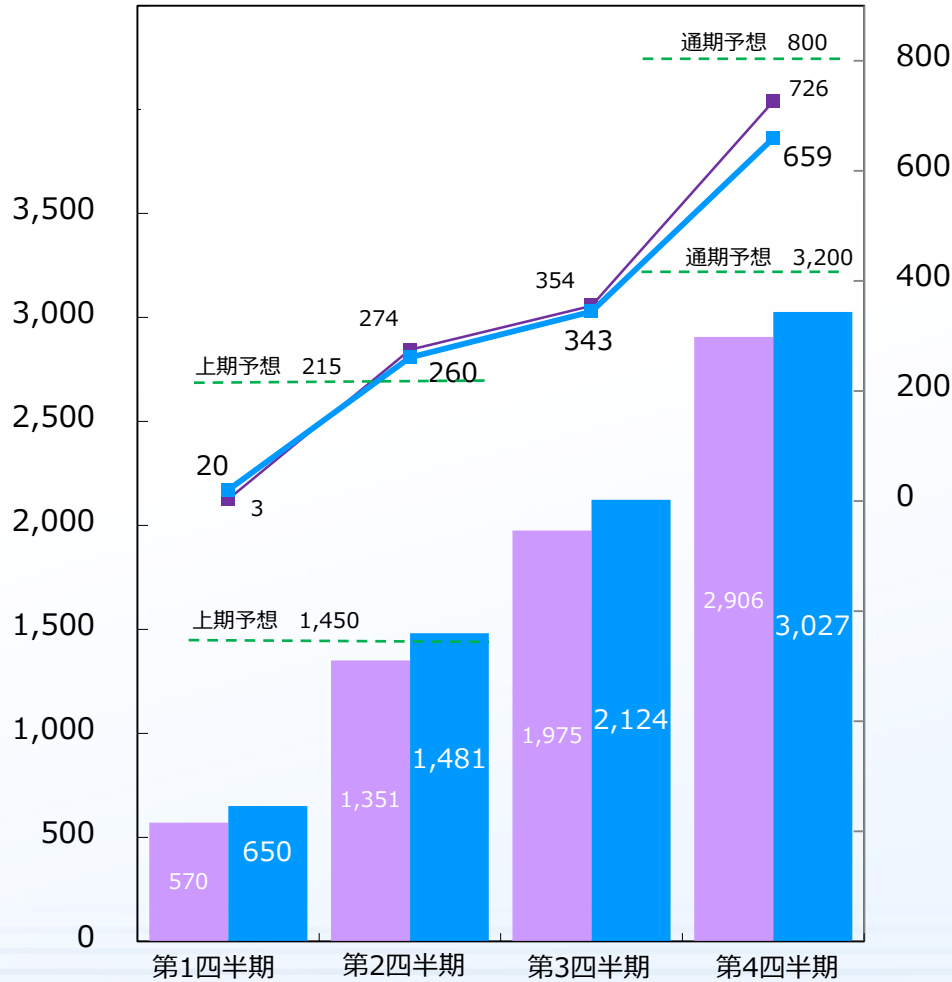
(単位：百万円)

市場別売上高	平成26年3月期実績	前年同期増減額	当期予想乖離額
企業向け市場	1,637	+200	△182
公共向け市場	1,028	△123	△1
家庭向け市場	361	+42	+11
合計	3,027	+120	△172

業績の推移 (連結)

(単位：百万円)

平成26年3月期 ■：売上 ▲：経常利益
平成25年3月期 ■：売上 ▲：経常利益

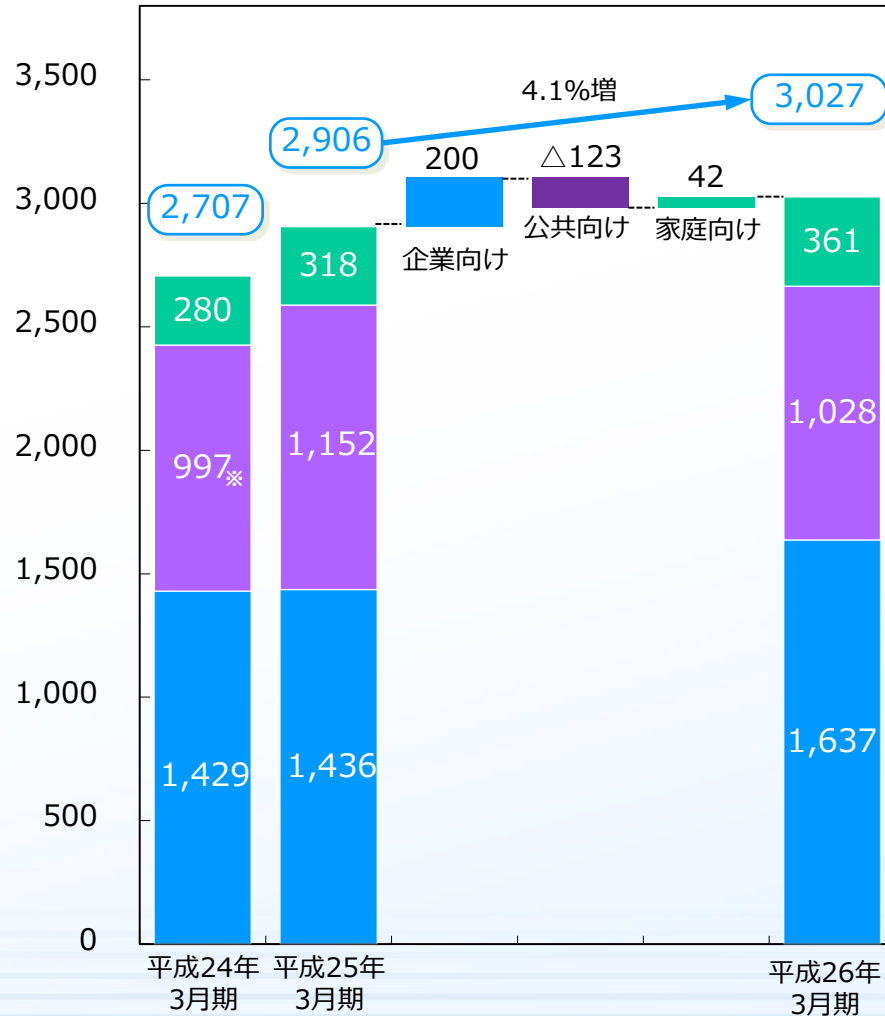


売上高 : 前年同期比 104.1%
経常利益 : 前年同期比 90.8%

市場別売上高の推移（連結）

(単位：百万円)

■ 企業向け市場 ■ 公共向け市場 ■ 家庭向け市場



前年同期比

企業向け市場：約200百万円増 (114.0%)
 公共向け市場：約123百万円減 (89.3%)
 家庭向け市場：約 42百万円増 (113.5%)
 全体：約120百万円増 (104.1%)

※ 平成24年3月期：大型受注分(約190百万円) 含む

売上原価 878百万円（前年同期比119.8%）

販売費及び一般管理費 1,496百万円（前年同期比104.1%）

新製品開発・発売に伴う人員の増強と減価償却費の増加、海外展開関連費用などによるものです
これらは今後の成長に向けての投資として、概ね計画通りに推移いたしました

（単位：百万円）

連結	平成25年 3月期	平成26年3月期			
	通期（実）	通期（実）	前年同期比	前年同期 増減額	主な増減要因
売上原価	732	878	119.8%	145	
労務費	357	378	105.9%	21	新製品開発に伴う開発・サポート人員体制強化
減価償却費	197	278	141.2%	81	新製品発売に伴う減価償却費の増加
他勘定振替その他製造原価	177	220	123.9%	42	海外展開関連費用増やD-SPA用サーバー機器等の仕入れ増
販売費及び一般管理費	1,437	1,496	104.1%	59	
人件費	670	780	116.3%	109	新製品発売に伴う人員体制強化
広告宣伝費	263	178	67.7%	△85	広告費減
その他	502	537	107.0%	34	人員増加に伴う関連費用や海外展開関連費用増

■ 企業向け市場のトピックス

- 企業向け市場における売上高は1,637百万円（前年同期比114.0%）

ハイライト)

- 「i-FILTER」(前年同期比107.8%)、「m-FILTER」(前年同期比123.7%)、「D-SPA」(前年同期比280.5%)は、前年同期を超え伸長
- 「i-FILTER」と「m-FILTER」のクラウド版が順調に推移（前年同期比115.4%）
- 「i-FILTER」のモバイル端末版が堅調に推移（前年同期比426.3%）
- 新たな売上源であるNRIセキュアテクノロジーズ株式会社より譲り受けた「Mail Adviser」及び「Labeling」が順調に推移

ローライト)

- 売上高は前年同期を超えたが、業績予想を超えず
 - ✓ 第4四半期は、Windows XPのサポート終了に伴うハードウェア（PCなど）投資にIT投資が流れ、期末繁忙期の業績が伸びず
 - ✓ 「i-FILTER」と「m-FILTER」のサーバー版が予想より伸びず
 - ✓ 「FinalCode」は、多くの有望なお客様による導入テストは進んだものの、本格的な販売に至らず

■ 公共向け市場のトピックス

- 公共向け市場における売上高は1,028百万円（前年同期比89.3%）

- 売上高は、前期の複数の大型案件の影響はあったものの、ほぼ業績予想通りの着地

■ 家庭向け市場のトピックス

- 家庭向け市場における売上高は361百万円（前年同期比113.5%）

ハイライト)

- ▶ 売上高は、前年同期および業績予想を超える
- ▶ 「i-フィルター」は、モバイル端末版（前年同期比208.2%）、ゲーム機/TV版（前年同期比107.4%）と順調に推移
- ▶ モバイル端末版は、携帯電話事業者との連携やOEM提供をはじめとした有料サービスの販売が好調に推移

ローライト)

- ▶ 新規パソコン出荷台数の減少に伴い「i-フィルター」のパソコン版の新規販売が伸びず（前年同期比95.8%）

■ 海外関連市場のトピックス

ハイライト)

- ▶ 「FinalCode」のグローバル販売に向けた準備が順調に進捗

平成26年3月28日発表 「米国における子会社設立に関するお知らせ」

平成27年3月期 通期業績の予想

<平成26年4月1日～平成27年3月31日>

 DigitalArts.

■ 企業および公共向け市場の戦略

i-FILTER (サーバー版)

平成26年4月1日から発売したWebアプリケーションのフィルタ機能を新たに搭載した

「i-FILTER」 ver.9 を約7,000社の既存顧客や潜在顧客へ販売を推進

- ✓ 従来のオプション機能や新機能を標準搭載。オプション機能単独購入よりも割安にしつつ、高価格設定した新価格
- ✓ 急速に注目されているシャドーITの課題に他社に先駆け対応

i-FILTER (モバイル端末版)

「i-FILTER」の約7,000社の既存顧客が保有するモバイル端末への販売を推進

- ✓ 業界最高水準のフィルタリングDB搭載、OSを選ばない柔軟な対応
- ✓ i-FILTER (サーバー版) との連携を強化した製品の提供

m-FILTER

GmailやOffice 365などのクラウドメールにも対応した「m-FILTER」新バージョンの発売開始

- ✓ クラウドメールの標準機能では十分ではないメールセキュリティ需要を開拓
- ✓ スпамメールの検知率は、業界最高水準の99.4% (当社検証結果)
- ✓ 保存メールをリアルタイムで検索可能。さらに、社員1000人の3年分の過去メール閲覧も僅か1秒で高速検索 (当社検証結果)

■ 企業および公共向け市場の戦略（続き）

FinalCode

既に導入テストをしていただいている潜在顧客の成約推進や販売に向けての検証が進んでいる
販売パートナーとの本格的な営業活動を加速

- ✓ 渡したファイルが“あとから消せる”世界に類のない魔法のソリューション

■ 家庭向け市場の戦略

i-フィルター（モバイル端末版）

携帯電話事業者やOEM提携先と連携し、スマートフォン向け「i-フィルター」の更なる拡販をする
とともに協業拡大

■ 海外市場の戦略

FinalCode

米国子会社からの積極的なグローバルでの製品販売の実施

- ✓ CEOをはじめボードメンバーには、現地の業界経験豊富な方の就任を予定
- ✓ 本格的な海外販売の初年度
- ✓ 世界における「情報セキュリティメーカー」としてのプレゼンスを高めてゆく

平成27年3月期連結会計期間の

売上高は 33.3億円（前年同期比110.0%）

経常利益は 7.7億円（前年同期比116.7%）の予想です

※なお、費用には、新たに米国子会社に関する費用として、120百万円が含まれております

今後、重要な変化がある場合は適切に開示してまいります

（単位：百万円）

連結	平成26年3月期	平成27年3月期	
	通期（実）	通期（予）	前年同期比
売上高	3,027	3,330	110.0%
上期	1,481	1,629	110.0%
下期	1,545	1,700	110.0%
営業利益	653	767	117.5%
経常利益	659	770	116.7%
当期純利益	399	461	115.4%

➤ 配当について

株主の皆様に対する利益還元につきまして、以下の通り計画しております

平成27年3月期の目標配当性向を連結当期純利益の30.1%

平成27年3月期年間剰余金配当予想額は1株当たり10.00円

	1株当たり配当金			連結配当性向
	中間	期 末	合計	
平成26年3月期	4.00	4.00	8.00	27.8%
平成27年3月期（予想）	5.00	5.00	10.00	30.1%

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち歴史的事実でないものは、将来の見通しに対する記述であります。本見通しは、当社経営陣が現在入手可能な情報に基づき判断したもので、環境等の変化により大きく見通しの変動する可能性があり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。今後、重要な変化がある場合は適宜開示してまいります。

本プレゼンテーションの基本的な数値の記載は、一部を除き百万円未満を切り捨てて表示しております。

- ・デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター/i-フィルター/i-FILTER/i-FILTER EndPoint Controller、m-FILTER/m-FILTER MailFilter/m-FILTER Archive/m-FILTER Anti-Spam/m-FILTER File Scan、D-SPA はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- ・FinalCode は株式会社アイキューエスの登録商標です。

DigitalArts®

- より便利な、より快適な、より安全な
インターネットライフに貢献していく -